

令和6年度 第3回
都市交通における自動運転技術の活用方策に関する検討会
議事要旨

1. 日時

令和7年2月17日（月）10:00～12:00

2. 出席者

＜委員＞森本章倫座長、糸久正人委員（WEB 参加）、大串葉子委員、金森亮委員、中村文彦委員、藤原章正委員（WEB 参加）、三好庸隆委員（WEB 参加）、森川高行委員

3. 議事

- ・ 都市空間における自動運転技術の活用に向けたポイント集（案）について

4. 議事概要

（事務局より説明を行ったところ、委員からの意見は以下のとおり）

- タイトルに「まちづくり」という言葉を入れてはどうか。
- 大規模災害が発生した際に自動運転社会がどうなるのか、今後の大きな課題であると認識している。
- 「自家用車両を含めたすべての車両が自動運転化し」とあるが、自ら運転を行う状況も想定されるため、記載の仕方に抵抗がある。
- P.16 について、コンパクトシティを推進していくための理由が少し弱いと思った。人口減少の中で、スプロール化して活気が薄れてしまうということと、コストが非常にかかるということで、この辺りのデメリットをもう少し強調して、だからコンパクトシティを目指さなければいけないということを強調されると、さらに良い。その上で、P.17 について、右から左のロジックだと、手段があり、課題があり、目指すべき都市像とあるが、中央の課題があって、自動運転技術の可能性がある、目指すべき都市像という流れの方が良いと思った。なお、自動運転技術を導入すると、一般的にコンパクト化に対してマイナスの影響を与える。しかし、それがなぜこのロジックだとコンパクトシティにつながるのかが分かりづらい。
- コンパクトシティになるということは非常に簡単で、居住地の選択嗜好性が変化することだと思う。街中に住みたい、歩いて楽しい街に住みたい等と思う人が増えれば、コンパクトシティになるし、郊外で二次交通を自動運転化し周遊できる場所に住みたい方が多ければコンパクトシティにならない。自動運転は諸刃の剣で、無秩序に整備をすると、郊外の優位性を高めるので、コンパクトシティにはならないが、ここに記載のある綺麗なシナリオで整理をしていくと、自動運転の活用により幹線系と支線系をつないで、都心に

住む、あるいは沿線に住むメリットが高まることでコンパクトになる、という趣旨だと思うが、そこが伝わりにくくなっているという気がした。

- 自動運転が都市で実装される際に、遠隔監視システムが今後重要になると考える。永平寺の L4 の事例や、静岡県で遠隔監視をしている事例等、遠隔監視（遠隔アシスト）システムに関する事例の紹介もあっても良いのではないか。
- データを利用したシミュレーションや、プライシングのような動的なマネジメントなど、データを都市で活用するというメッセージを入れられると良い。
- 自動運転化されると、全てが無人で実施できるという誤解を解くため、車内のオペレーターやモビリティハブにおけるオペレーターの必要性をコラム等で触れてはどうか。
- ハンブルクは、都市空間全体を考えて、自動運転をどうするか考えた一例だと思う。将来的に人口の約 85%が地下鉄・バスのネットワークがない地域に張り付くと想定される中、自動運転のオンデマンドバスを活用し、また各エリアをつなぐ結節点（モビリティハブ）にはシェアリングサービスを導入するなど面白い事例があるので、どこかで触れてはどうか。
- 多くの場合、駐車場の持ち主は土地の所有者で、それに対して駐車場の形状、料金、入り口の位置に至るまで、コントロールできず、結果的に駐車場が移ぎの場所になっている。P70 のナントのパーク＆ライドの事例等、駐車場整備をするにあたり工夫している事例や、駐車場の課題に対する議論が進んでいることを触れてはどうか。
- 都市に流入してくる物流車両の自動運転化に関する言及が少ないのが気になった。まちなかの中心部は歩行者中心の空間にし、自動運転の物流車両は隔地のような場所に自動で停車するといったように整理すると良いのではないか。
- 物流に関する自動運転化について、経産省で中型の配送ロボットについてとりまとめをしているので、紹介してはどうか。
- 自動車メーカーの視点から見ると、完全自動運転になると抵抗感がある等、違った意見が出てくるかと思う。
- 自治体の方が何から手を付けていくべきか、ロードマップを示してはどうか。
- 自分が自治体の関係者で、このポイント集を読む際にどこに付箋を付けるかという見方をすると、政策メニューが並んでおり、どう使えるかを示している P. 16、17、全体を通じて現状と自動運転が限定的に導入される混在期と完全移行期に分けている頁である。この部分を自治体に伝えるショートメッセージを今後 PR いただけるものと思っている。
- このポイント集の良いところは、自治体関係者の方々のマインドが変わることである。自動運転によるメリット・デメリットを理解した上で、主体的に技術を使っていくマインドが伝われば良いと思う。

- 今後、ポイント集をどう普及させて、どう使っていくかが重要だと思っている。
- 概要集としてのとりまとめを予定しているが、海外への発信も検討いただきたい。